

読書ボランティア紹介

おはなし会にゃーご（福島市立南向台小学校）

子ども読書推進のために

おはなし会にゃーご（福島市）

2月18日（木）訪問

登録人数

10名（H28.2 現在）

創設年月

平成11年

活動場所

福島市立南向台小学校、福島市立青木小学校

活動内容

よみきかせ、かみしばい、ペープサート
パネルシアター、エプロンシアター



平成9年に南向台小学校が創設され、同時にPTAが図書館整備のボランティア活動を始めました。活動の中で学校側からよみきかせの要望があり、平成11年から「おはなし会にゃーご」として読書ボランティア活動を開始しました。当初は1年生の希望者を対象に昼休みを利用してよみきかせを行っていましたが、現在は規模が広がり全校生を対象として4グループに分かれ年10回行っています。クリスマスの時季には、体育館でペープサートを影絵として投影しながら全校生に朗読するなど、工夫を凝らしてアイデア溢れる活動を実践しています。

活動の実際

訪問当日は全校生向けのよみきかせが行われました。通常は4グループに分かれますが、本時は1～3年、4・5年、6年の3グループ3会場に分かれ実施されました。1～3年ではかみしばい「馬になったむすこ」、よみきかせ「へっこきよめさま」が行われました。始まる前に太鼓を叩き、音で場の雰囲気盛り上げる配慮がなされていました。低学年の児童も物語に入り込み、真剣な表情で見入る姿が大変印象的でした。4・5年生ではよみきかせ「しにがみさん」、「きょうりゅうがすわっていた」、かみしばい「まほうのこなぐすり」が行われました。作品の中に反復法を用いた文の繰り返しがあり、ボランティアさんの音調に合わせて児童から笑い声が聞こえるなど、作品が持つ良さを感じていました。6年生ではよみきかせ「北風と太陽」、「蜘蛛の糸」が行われました。上級生ということもあり長編で、また難しい言葉遣いも多々用いられていましたが、どの児童も集中して聞き入っていました。よみきかせ後にボランティアさんから感想を求められましたが、多くの児童が率先して挙手し、自らが感じた事思った事を全体の場で発表していました。どの会場においてもボランティアさんが趣向を凝らした実践を行っており、また対象者を十分に考慮した選書のため、児童は作品を十分に楽しむことができていました。

